

令和8年2月27日

保護者の皆様へ

町田市立薬師中学校  
校長 矢島志津香

## 令和7年度 教育活動のまとめ（学校評価の報告）

昨年11月に「令和7年度教育活動に関するアンケート」に御協力いただきましてありがとうございました。保護者の皆様及び生徒からのアンケート結果を踏まえて、今年度の学校評価を以下のようにまとめましたので、お知らせいたします。

### 1 今年度目指してきたこと

教育目標

- 自ら学び考えて行動する生徒……………（学び続ける力の育成）
- 礼儀正しく思いやりのある生徒……………（豊かな心の涵養）
- 心身ともに健康でたくましい生徒……………（健やかな体の育成）

目指す学校像・教師像・生徒像

- 生徒が安心して生き生きと活動し学ぶことができる学校
- 地域と共に粘り強く組織的に改善に努める学校
- 生徒や保護者の気持ちに適切に寄り添いチームワークを大切に指導できる教師
- 教育者としての使命感をもち、授業力等の研修、研鑽を怠らない教師
- 向上心をもち主体的に学ぶ生徒
- 自他を大切にし、協働できる生徒
- 挨拶、礼儀など基本的な社会性を身に付けた生徒

### 2 今年度の学校経営計画の重点

- (1) 社会に開かれた教育課程の実現
  - ア 積極的な情報発信と学校公開を通して教育活動の広報に努め、理解を求める。
  - イ 地域行事に積極的に協力、参加し地域、保護者との連携を図る。
- (2) 学び続ける力の育成
  - ア 教材研究と指導方法の工夫を通して興味を持ち、わかる授業を展開する。
  - イ すべての活動を通して思考力、判断力、表現力の伸長を図る。
- (3) 豊かな心の涵養
  - ア 安心していきいきと学校生活をおくるとともに、規範意識の向上を図る。
  - イ 人権教育を充実させるとともに自己肯定感を育むための活動を推進する。
- (4) 健やかな体の育成
  - ア 体力の向上を図る活動と基本的な生活習慣を定着させる活動を重視する
  - イ 安全で落ち着いた学校生活が送れるように校内の教育環境を整備する。

### 3 教育活動に関するアンケート結果から（ ）内は昨年度結果

- (1) 社会に開かれた教育課程の実現

#### 【保護者に対するアンケートの肯定的な回答結果】

- ◎保護者アンケート「学校は保護者や地域の方に対して情報発信をしている」 **全体82 (81) %**
- ◎保護者アンケート「学校は小学校と連携して教育活動に取り組んでいる」 **全体74 (70) %**
- ◎保護者アンケート「学校は保護者会や学校公開、学校行事などで教育活動を公開している」 **全体90 (91) %**
- ◎保護者アンケート「学校は校内整備や校内美化に取り組んでいる」 **全体80 (75) %**

保護者アンケートの「保護者や地域の方に対して情報発信をしている」において82%の肯定的回答を得られた。また「保護者会や学校公開、学校行事などで教育活動を公開している」においても全体で91%の肯定的な回答が得られている。今後も学校便りや学年・学級便りの発行、ホームページへの掲載、保護者連絡アプリの活用を通して、教育活動の公開及び必要な情報発信に努めていく。小学校との連携、地域や外部人材の活用においては、現在実施している「小中合同研修会」「小学生の中学校訪問」や薬師地区委員会主催の「親子まつり」や「地域の清掃活動」をさらに充実した内容となるように、連携を図っていく。新たな地域と連携した教育活動も考えていく。

校内整備や校内美化については、日常の巡回、定期的な安全点検により、施設、設備等の修理、改善につとめ、また清掃指導を通して、より良い環境を整えていくよう努めていく。

## (2) 学び続ける力の育成

【生徒・保護者に対するアンケートの肯定的な回答結果】保護者結果（ ）内は昨年度の数値

○生徒によるアンケート「課題や問題に対して、自分の考えを持つようにしている」

学校全体で 85%

○生徒によるアンケート「自ら進んで計画をたてて学習をしている」

学校全体で 72%

○生徒によるアンケート「問題や課題に取り組んでも、上手くいかないときは、違うやり方を試したり、調べたりして、粘り強く取り組んでいる。」

学校全体で 76%

○生徒によるアンケート「朝読書にきちんと取り組んでいますか」

学校全体で73% (84%)

○生徒によるアンケート「学校生活を通して身につけていると思うこと」学校全体上位3つ

1 基礎・基本の知識技能 73% 2 自ら判断する力 63% 3 相手に伝わる表現力 56%

○生徒によるアンケート「学校生活を通して身につけたいと思うこと」学校全体上位3つ

1 見通しをもって計画的に取り組む力 59% 2 自ら論理的に考える力 58%  
3 自ら学ぶ力 55%

◎保護者アンケート「各教科の基礎的・基本的なことがらが身に付いてきている」 全体 67 (62) %

◎保護者アンケート「宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる」 全体 63 (55) %

◎保護者アンケート「学校ですすんで読書をしている」 全体 45 (28) %

生徒には今年新たな内容でアンケートを実施した。自身の学びについて振り返る内容である。

「課題や問題に対して自分の考えをもつようにしている」と回答した割合が80%以上に対し、「見通し」や「粘り強さ」70%程度にとどまり課題がみられる。「読書活動」については前年度に比較し下回る結果となった。また、「基礎、基本の知識・技能の定着」は70%弱の生徒が肯定的な回答をしている一方で、今後身につけたい力をまとめると、「計画的に自ら学び、論理的に考える力を身につけたい」と考えている生徒が60%弱いることもわかった。

保護者による子どもの学習への取り組みについては、昨年度に比べればどれも肯定的な回答が増えた。これらのことから、今後も読書活動を推進し、より多くの書物に触れることで知識、漢字、表現力などの習得、物語を通して疑似体験、想像力の育成につなげていく。また、生徒の身につけたいと思う力の育成のため、指導の工夫や活動内容の充実および家庭学習の定着を図るための手立てを考えるなど、継続して指導方法の改革に努めていく。また、ICTを活用した指導方法についてもさらに効果な活用方法を工夫することが重要だと考え、引き続き実践していく

### (3) 豊かな心の涵養

【生徒・保護者に対するアンケートの肯定的な回答結果】( )内は昨年度の数値

- 生徒アンケート「学校生活は楽しいです」 **全体で 91% (93%)**
- 生徒アンケート「自分から挨拶をします」 **全体で 83% (79%)**
- 生徒アンケート「時間や約束守っています」 **全体で 87% (87%)**
- 生徒アンケート「人の話をよく聞きます」 **全体で 87% (88%)**
- 生徒アンケート「正しい言葉遣いができます」 **全体で 82% (82%)**

- ◎保護者アンケート「学校のきまりや家庭でのきまりを守っている」 **全体 81 (74) %**
- ◎保護者アンケート「あいさつをきちんとしている」 **全体 86 (80) %**
- ◎保護者アンケート「学校はいじめ防止や体罰防止に取り組み子どもの人権を大切にしている」 **全体 70 (71) %**
- ◎保護者アンケート「ICT 機器、などによるネットマナーが身に付いている」 **全体 76 (69) %**

生徒アンケートで「学校は楽しい」「約束や時間を守る」「挨拶」などの質問において肯定的回答の割合が高くなっている。「挨拶」については昨年度より上回っており指導の効果があつたのではないか。どの項目もできて当たり前であるため9割を目指し指導を継続していく。保護者アンケート結果は前年度より上回っており、引き続きお互いを尊重しあえる集団となるよう、よい人間関係を構築できるよう、いじめの問題や個々の生徒の問題を注意深く捉え、細やかな対応に努めていく。また、情報モラル低下、未定着により発生するネットマナー違反やライントラブル等の減少を目指し外部講師を活用した情報モラル教育など工夫し、指導を続けていく。

またそうした教育活動や指導を理解していただくためにも、より丁寧な保護者との連携、情報発信に努めていく。

昨今の心の問題、不登校、障がい特性への理解を深めるために、今後も特別支援教育に関する研修や教育相談の充実を図り、スクールカウンセラーや外部機関(教育センター・子ども家庭支援課・児童相談所・スクールソーシャルワーカー等)と連携したより良い支援を行っていく。

### (4) 健やかな体の育成

【生徒・保護者に対するアンケートの肯定的な回答結果】( )内は昨年度の数値

- ◎保護者アンケート「日常的に運動やスポーツに積極的に取り組んでいる」 **全体 64 (69) %**
- ◎保護者アンケート「交通事故防止や不審者対応などの安全意識が身に付いている」 **全体 90 (89) %**

子供の運動量確保と熱中症予防とバランスをとりながら体育的行事、体育の授業や部活動など実施しました。保護者アンケートでは「日常的に運動やスポーツに積極的に取り組んでいる」との肯定的な回答が全体で64%だった。運動部に所属していない生徒の運動不足解消、全体の体力向上につながるように教育活動を工夫していく。

また安全や防犯に関する意識については9割近く肯定的な回答である。月1回の安全指導の充実を図り、安全意識の向上及び維持のための指導を継続して努めていく。

## 4 次年度に向けた改善策について

### (1) 社会に開かれた教育課程の実現について

- ◆教育活動を、学校便りや学年便り、その他必要な情報を紙面で配布するとともにホームページや保護者連絡アプリを活用し、積極的に情報発信をしていく。
- ◆家庭との連携については、必要に応じて迅速に連絡し、理解と協力がいただけるよう丁寧な対応に努める。
- ◆学校運営協議会は年5回開催し、学校経営方針と計画を理解していただき、教育活動の進行管理における協議において必要な調整を行うとともに、学校評価において成果と課題をまとめより良い学校運営を目指す。
- ◆地域の資源、人材を活用した体験活動など計画的に実施していく。
- ◆金井中学校との統合に向けて、生徒、教員間の交流を図る。

### (2) 学び続ける力の育成について

- ◆学習意欲を高めるため、生徒に身につけさせるべきことをしっかりと学ばせるとともに主体的に学ぼうとする力を身につけさせるための指導方法の研究を進める。具体的には「見通しをもたせる導入・発問の工夫・価値ある対話の共有・振り返りの設定・構造的な板書とノート指導・思考ツールの活用・認め合い学び合う集団の形成」を踏まえた授業づくりを充実させる。
- ◆ICT 機器を活用した指導方法については、情報モラル教育とともに、目的にあった正しい利用方法を指導し、タブレット端末や ICT 機器の利活用について質を高めていく。
- ◆学習ドリルソフトの活用した反復学習により基礎学力定着を図る取り組みを継続していく。
- ◆学校全体で家庭学習の習慣を定着させるための取り組みをする。
- ◆放課後学習教室や夏季補習教室の内容を充実させる。

### (3) 豊かな心の涵養について

- ◆学級・学年における集団生活を大切にし、人との関わりやその問題解決について学ぶことを通して、心身ともに健康で安全な生活態度や習慣を身につけさせる。また、自他を尊重する心を育てる指導を重視し、学ぶ場として生徒自らが意欲的に活動できる集団づくりを目指す。
- ◆「特別の教科道徳」の教科書を活用し、「特別の教科道徳」の時間においては「考え、議論する」活動を通し、自分の考えや他者の考えから見方や考え方を広げたり深めたりできる指導を目指す。また、人権尊重や規範意識、公共心を高める指導については、学年や学級を単位とした活動の中で重点的に取り組み、生徒の豊かな心の教育を充実させる。
- ◆特別支援教育では、ユニバーサルデザインの視点に基づいた教室環境、学習環境の整備を組織的に取り組むとともに、学校全体での組織的な支援体制を構築し充実を図る。
- ◆特別支援学級と通常学級との交流や共同学習などの機会を増やし相互理解に努める。

### (4) 健やかな体の育成について

- ◆体育的行事、運動部活動の機会は、その意義を重視し、維持されるよう内容を工夫して、取り組みを継続する。
- ◆体力を向上させる取り組みとして統一体力テストの日を設定し、全校生徒の体力を数値でとらえる活動を継続しテストの結果をもとに、足りない部分の体力向上を図る。
- ◆昼休み休憩時を活用し、体を動かす機会を増やす取り組みをする。
- ◆計画的な避難訓練、安全指導などを通し、防災や安全に関する意識の啓発を図り、実践できる態度を養う。